

## 編集後記

新型コロナウイルス禍の影響により、今年度前期はオンラインによる講義を受けた、あるいは行った読者の方も多かったのではないのでしょうか。私が担当したフーリエ／ラプラス変換に関する講義についても、オンラインで行うことが3月に決定しましたが、私が抱いた最大の懸念は、「果たして学生は（模範生ではなかった私とは異なり）90分間オンライン講義を自宅で集中して聴くだろうか」でした。その懸念を少しでも払拭するために本年度は、「30分講義→課題を15分で解いてWeb提出→30分講義→課題を15分で解いてWeb提出」の変則形式によるリアルタイムのオンライン講義を実施しました。課題を解くことに講義の3分の1の時間を費やしている点については賛否両論があるかとは思いますが、結果として学生の出席率は95%以上、課題の正答率も70%以上と想定していたよりも高い割合でした。出席率の高さについては、参加が容易なオンライン講義のメリットが如実に現れたものと思われませんが、決して簡単で

はない課題の正答率が高かった点については、履歴やアンケートによると、学生の多くが事前に講義資料をダウンロードして予習をしていたことが主たる要因だったようです。結果的にいわゆる狭義の反転授業となり、学生の能動性を少しは引き出したことが、苦肉の策で行った本年度のオンライン講義の一番大きな収穫でした。

さて話は変わりますが、編集委員を拝命しておよそ1年3か月。最初の7ヵ月はオンサイトで会議に出席したのは1度だけで、講義であれば確実に単位を落とす出席率でしたが、オンラインとなったこの6ヵ月は常に出席しており、まさに前述のオンラインのメリットを享受しております。また磁場閉じ込めグループの副主査を3ヵ月前に拝命してからは事前の「予習」が増え、より能動的に編集委員会に参画できるようになったのではないかと感じています。オンライン講義／会議では能動的なアクションが特に重要ではないかと実感しつつ、今日もメールに添付されたZoomやWebexのリンクを押しています。（今寺賢志）

### プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博  
副 会 長：安藤 晃（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長） 竹入康彦（推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長）  
常務理事：下妻 隆（総務委員長）  
理 事：荒巻光利（編集委員長） 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖  
金子俊郎 木戸修一（財務委員長） 小西哲之 齊藤輝雄  
篠原孝司（広報委員長） 神野雅文 中井光男（年会運営委員長，企画委員長）  
渡邊隆行（企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長） 横峯健彦 和田 元  
監 事：中村圭二，前田達志

### プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)  
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，城崎知至(広島大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)  
編集委員：池添竜也(九大)，今寺賢志(京大)，岩田夏弥(阪大)，上野一磨(中京大)，大谷芳明(量研)，小川大輔(中部大)，  
呉 準席(大阪市大)，小柳津 誠(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林 真(核融合研)，小林政弘  
(核融合研)，近藤康太郎(量研)，齋藤誠紀(山形大)，齋藤晴彦(東大)，柴田崇統(高エネ研)，清水鉄司(産総研)，  
竹田圭吾(名城大)，田中宏彦(名大)，中村浩隆(阪大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，  
森田太智(九大)，森高外征雄(核融合研)，山田大将(長野高専)，安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第96巻第10号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年(令和2年)10月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。